

ESTメールマガジン 第 110 号 (2015.9.25)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局

□ 主な内容

【第 7 回 EST 交通環境大賞への応募を受付中！】〔応募締切: 9 月 30 日 (水)〕

今年度も EST 交通環境大賞への応募を受け付けています。全国各地で交通環境対策に取り組みられている皆様からの応募を期待しています。

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2015.html>

【平成 27 年度に開催するセミナーの参加者募集中！】

以下のセミナーの参加者を募集しています。皆様のご参加をお待ちします。

10/8 第 8 回地域バス交通活性化セミナー (那覇)

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/8th_seminar.html

10/14 第 9 回地域バス交通活性化セミナー (徳島)

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/9th_seminar.html

10/26 第 29 回 EST 創発セミナー [北海道] (札幌)

<http://www.estfukyu.jp/sohatsu39.html>

【第 5 回 地域の交通環境対策推進者養成研修会参加者の追加募集中！】

今年度、神奈川県藤沢市で 10 月 28 日 (水) ~ 30 日 (金) に開催される研修会について、参加者を 3 名程度追加募集しています。希望される方は事務局までお問い合わせ下さい。

<http://www.estfukyu.jp/training2015.html>

□ 目次

1. 寄稿 (1) 「環境的に持続可能な交通を目指して」 (第 110 回)

● 「つくばエクスプレスの開業 10 周年に考える」

【筑波大学システム情報系社会工学域 教授 谷口 守】

2. 寄稿 (2) 「地方から全国に向けた情報発信！」 (第 110 回)

● 「クルマ中心の山梨県での『エコ通勤』への取り組みについて」

【山梨県県土整備部都市計画課 雨宮 康治】

3. ニュース／トピック

● 地域公共交通再編実施計画の認定について【国土交通省】

● 平成 27 年度まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の採択結果の公表について【国土交通省】

● 「鉄道の日」について【国土交通省】

- 東京都市圏における環境対策のモデル分析の方針と期待される成果の公表について【環境省】
- 「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2015」の実施について【四国公共交通利用促進協議会】
- 第7回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】
- 「ふれあい収集」における EV トラックの実証実験について【埼玉県】
- 「かながわ EV シェアリング IN 箱根」スタートについて【神奈川県】
- コミュニティサイクル事業実証実験の開始について【中央区、ドコモ・バイクシェア】
- くまもと公共交通利用促進キャンペーン 2015 について【熊本市】
- 環境キャンペーン「電車でクールチョイス！ 2015」について【小田急電鉄】
- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2015」の開催について【一般社団法人カーフリーデー・ジャパン】
- 所有と共有をテーマにした研究報告書の公表について【ドイツ連邦環境庁】

4. イベント情報

- 第8回地域バス交通活性化セミナー(那覇)【2015/10/8】
- 第9回地域バス交通活性化セミナー(徳島)【2015/10/14】
- 第29回 EST 創発セミナー〔北海道〕(札幌)【2015/10/26】
- 第5回地域の交通環境対策推進者養成研修会(藤沢)【2015/10/28-30】
- 第15回スルッと KANSAI バスマつり【2015/9/27】
- バスフェスタ 2015 in Tokyo【2015/10/3】
- 第22回 ITS 世界会議ポルドルー2015【2015/10/5-9】
- LRT 都市サミット鹿児島 2015【2015/10/23-24】
- 全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会【2015/10/24-25】
- くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015【2015/10/24-25】
- 都市交通研究所創立 50 周年記念シンポジウム【2015/11/13】
- 第13回 ITS シンポジウム 2015【2015/12/3-4】
- エコプロダクツ 2015(第17回)【2015/12/10-12】

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています！
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 110 回)

●「つくばエクスプレスの開業 10 周年に考える」

【筑波大学システム情報系社会工学域 教授 谷口 守】

最近の公共交通を巡る話題として、2005 年 8 月 24 日に開業したつくばエクスプレスがちょうど 10 周年を迎えました。

開業当初は一日平均 15 万人だった輸送人員も、昨年には 32 万 6 千人とたった 10 年で倍以上になり、当初の予測を上回る利用状況になっています。同時に、沿線都市は若い世代が新たに流入し、人口減少や高齢化の進む他市町村からは熱い視線が注がれています。

このような成長は何も偶然の産物ではありません。沿線ではその計画時から一体型の土地区画整理事業が取り組まれたことで、駅周辺部に十分な基盤の備わった開発用地が提供され、それがスムーズな都市化を可能にしたのです。

土地利用計画と公共交通整備の一体化を旨とする立地適正化計画の必要性が問われていますが、その意義はこのつくばエクスプレスとその沿線の 10 年の成長を見れば明白です。

なお、このような急速な都市化は沿線の発生集中交通量全体を押し上げ、交通環境の改善という面では課題もあります。

特に沿線には人口増加を当て込んだ商業施設も新たに数多く立地し、区画整理で整備された幹線道路網も既に飽和気味です。何より、つくばエクスプレス自体が既にピーク時の混雑が激しくなっており、既に追加投資が求められる段階になっています。

地域活力と環境が調和した土地利用・交通基盤を計画・運用していくことは容易ではありませんが、最も興味深いプランニングの課題であるといえましょう。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 110 回)

●「クルマ中心の山梨県での『エコ通勤』への取り組みについて」

【山梨県県土整備部都市計画課 雨宮 康治】

山梨県では、クルマの利用は日常生活に欠かすことのできない移動手段となっており、本県を中心とする甲府都市圏におけるパーソントリップ調査の結果を見ても、移動目的別交通手段の分担率において、クルマ利用が通勤で 81%、業務 86%、私事 74%、また観光客の来訪手段においても 77%と、いずれの行動もクルマ利用が大半をしめることが確認されています。クルマでの移動が中心であることはやむを得ないとしても、過度にクルマに依存したライフスタイルは、様々な問題につながる危険なところがあります。

このような状況から山梨県では、甲府都市圏における交通課題を解決する方策のひとつとして、MM(モビリティ・マネジメント)に関する取り組みを行っています。目的は、渋滞緩和、公共交通機関の利用促進、地球環境への影響低減、健康増進、集約型都市構造の形成等に寄与することであり、平成 21 年度に研究会を立ち上げるとともに、まずは、通勤行動を対象とした試行の実施及び調査を開始し、現在も継続的に取り組んでいるところです。

これまでの具体的な取り組み内容は、MM の考え方に基づく取り組みを理解いただいた参加事業所の従業員を対象に「エコ通勤コミュニケーションアンケート」を試行的に実施しており、アンケートを通してエコ通勤に対する意識の変化や通勤方法を見直すきっかけ、エコ通勤の実践状況などを調査しています。また、参加の呼びかけとして、チラシや小冊子、実際にエコ通勤を行った人の体験談等も活用しており、昨年度の参加事業所は 146 社、エコ通勤アンケートの回答者は 937 人となっております。アンケートの結果、約 3 割の人がこの取り組みによってエコ通勤を考える良いきっかけとなったとの回答が得られており、今後も継続して取り組むことで、事業所内での取り組みの広がりや定着、また新規事業所の参加等を促すとともに、通勤行動以外の新たな対象についても検討して行きたいと考えております。

3. ニュース／トピック

●地域公共交通再編実施計画の認定について【国土交通省】

国土交通省では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく岐阜市地域公共交通再編実施計画について、岐阜市に対し、全国で第1号となる認定を行いました。JR岐阜駅をハブターミナルとしたバス3路線を再編し、渋滞などによる遅延の解消を図るとともに、市民協働型コミュニティバスを新たに導入し、路線バスとのネットワーク化によるバスの利用促進を目指します。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000085.html

●平成27年度まち・住まい・交通の創蓄省エネルギー化モデル構築支援事業の採択結果の公表について【国土交通省】

国土交通省では、平成27年度の本事業に係る構想策定を支援する提案の公募を実施し、応募のあった提案内容について、外部有識者により構成された審査会の結果を踏まえ、5地域(札幌市、長井市、北栄町、杵築市、八代市)の提案者を支援対象として採択したことを公表しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo10_hh_000113.html

●「鉄道の日」について【国土交通省】

国土交通省では、明治5年10月14日に新橋～横浜間に日本で最初の鉄道が開業したことを受け、平成6年にその誕生と発展を記念し、毎年10月14日を「鉄道の日」と決めました。鉄道が国民に広く愛され、その役割についての理解と関心がより深まることを願い、鉄道事業者、関係団体、国等が「鉄道の日」実行委員会を組織し、毎年多彩な行事を全国各地で実施しています。行事の詳細については下記の国土交通省ホームページをご覧ください。

http://www.mlit.go.jp/tetudo/tetudo_tk1_000004.html

●東京都市圏における環境対策のモデル分析の方針と期待される成果の公表について【環境省】

環境省では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした環境配慮の推進に向け、東京都市圏(東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県)における環境対策のモデル分析の方針と期待される成果を取りまとめ、公表しました。

<http://www.env.go.jp/press/101448.html>

●「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2015」の実施について【四国公共交通利用促進協議会】

四国 4 県と関係団体、NPO、四国運輸局等で構成する四国公共交通利用促進協議会では、公共交通を「もっと気軽に、もっと身近に」感じてもらえるよう、「四国まるごと公共交通利用促進キャンペーン 2015」を実施し、9 月 12 日(土)～10 月 18 日(日)の期間中、地方自治体、国、公共交通事業者、NPO 等が協力して、各地で公共交通に親しむイベントを開催しています。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2015/2015-0828-1540-4.html>

●第 7 回 EST 交通環境大賞への応募を募集中【EST 普及推進委員会】

EST 普及推進委員会及びエコモ財団では、地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰する EST 交通環境大賞を募集しています。以下のウェブページをご覧ください、全国各地で交通環境対策に取り組まれている自治体、企業、市民団体等の皆様が応募されることを期待しています。〔応募締切:9 月 30 日(水)〕

<http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2015.html>

●「ふれあい収集」における EV トラックの実証実験について【埼玉県】

埼玉県では、運輸部門における CO2 排出量の削減が課題となっており、走行時に CO2 を排出しない EV の普及を推進しています。川口市において、日産自動車が開発中の EV トラックを使用した実証実験を行い、川口市が実施している「ふれあい収集」(高齢者及び障害者を対象とした戸別収集)の収集車に EV トラックを使用することによって、使い勝手等を検証し、普及を後押しします。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0001/news/page/150831-06.html>

●「かながわ EV シェアリング IN 箱根」スタートについて【神奈川県】

神奈川県では、EV の一層の普及拡大と箱根の応援のため、EV を箱根のホテルに配置し、観光客がレンタルして利用するとともに、ホテルも業務などで活用するカーシェアリングモデル事業を実施します。

<http://www.pref.kanagawa.jp/prs/p955508.html>

●コミュニティサイクル事業実証実験の開始について【中央区、ドコモ・バイクシェア】

中央区では、協定を締結した株式会社ドコモ・バイクシェアと 10 月 1 日(木)よりコミュニティサイクル事業実証実験を開始します。区内に分散設置された自転車の貸出・返却場所であるサイクルポートで、どこでも自転車を借りることができ、どこへでも返却できるサービスです。

http://www.city.chuo.lg.jp/kankyo/seisaku/communitycycle/komyu_start.html

http://www.d-bikeshare.com/release/2015/20150918/release_20150918.html

●くまもと公共交通利用促進キャンペーン 2015 について【熊本市】

熊本市では、9月19日(土)～10月18日(日)までの期間、交通渋滞の緩和や環境問題への対応など、マイカーから公共交通機関であるバス・電車への利用促進を図ることを目的として「くまもと公共交通利用促進キャンペーン 2015」を実施し、クイズや街頭イベントを開催しています。

http://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&type=top&id=6503

●環境キャンペーン「電車でクールチョイス！2015」について【小田急電鉄】

小田急電鉄では、10月17日(土)、18日(日)に海老名駅周辺で開催する「小田急ファミリー鉄道店 2015」において、環境省の特別協力により「COOL CHOICE」と連携した環境キャンペーン「電車でクールチョイス！2015」を実施します。当日、鉄道を利用して来場した方が専用端末にタッチすることで、自家用車利用と比べ、削減されたCO2排出量をその場で確認することができます。

http://www.odakyu.jp/program/info/data.info/8320_1508446_.pdf

●「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー2015」の開催について【一般社団法人カーフリーデー・ジャパン】

世界的に行われている「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー」が、今年も9月16日(水)～9月22日(火)に開催されました。今年のテーマは「選んで・変えて・組み合わせよう 賢い移動」であり、世界の約2,000都市、日本の10都市において様々な取組が実施されました。

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan>

●所有と共有をテーマにした研究報告書の公表について【ドイツ連邦環境庁】

ドイツ連邦環境庁では、所有と共有をテーマにした研究報告書を公表しました。最も重要な事例としてカーシェアリングを挙げ、カーシェアリングの促進により、年間600万トンのCO2排出量が削減すると試算しています。

<http://www.umweltbundesamt.de/presse/presseinformationen/carsharing-koennte-co2-emissionen-um-sechs>

4. イベント情報

- 第 8 回地域バス交通活性化セミナー(那覇)
日時: 2015 年 10 月 8 日(木) 13:30~16:50
場所: サザンプラザ海邦 大ホール
主催: 内閣府沖縄総合事務局、エコモ財団
http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/8th_seminar.html

- 第 9 回地域バス交通活性化セミナー(徳島)
日時: 2015 年 10 月 14 日(水) 13:40~17:00
場所: あわぎんホール 5 階 小ホール
主催: 四国運輸局、エコモ財団
http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/9th_seminar.html

- 第 29 回 EST 創発セミナー〔北海道〕(札幌)
日時: 2015 年 10 月 26 日(月)
場所: アスティ 45 ACU12 階 中研修室 1206
主催: 北海道運輸局、EST 普及推進委員会、エコモ財団
<http://www.estfukyu.jp/sohatsu39.html>

- 第 5 回地域の交通環境対策推進者養成研修会(藤沢)
日時: 2015 年 10 月 28 日(水)~30 日(金)
場所: 藤沢商工会館ミナパーク 多目的ホール①ほか
主催: EST 普及推進委員会、エコモ財団、関東運輸局
<http://www.estfukyu.jp/training2015.html>

- 第 15 回スルッと KANSAI バスマつり
日時: 2015 年 9 月 27 日(日) 10:00~16:00
場所: 花博記念公園鶴見緑地(大阪市鶴見区)
主催: スルッと KANSAI 協議会
<http://www.surutto.com/bus/>

- バスフェスタ 2015 in Tokyo
日時: 2015 年 10 月 3 日(土)
場所: 都立代々木公園・ケヤキ並木
主催: 一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社
<http://www.bus.or.jp/event/>

●第 22 回 ITS 世界会議ポルドー2015

日時:2015 年 10 月 5 日(月)～9 日(金)

場所:Congre et Expositions de Bordeaux

主催:TOPOS

<http://itsworldcongress.com/>

http://www.its-jp.org/katsudou2014/tabid_100/bordeaux_2015/

●LRT 都市サミット鹿児島 2015

日時:2015 年 10 月 23 日(金)～24 日(土)

場所:市内ホテル、新交通局舎など

主催:鹿児島市

<https://www.city.kagoshima.lg.jp/kikakuzaisei/kikaku/kotuseisaku/event/lrtsummit2015.html>

●全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会

日時:2015 年 10 月 24 日(土)、10 月 25 日(日)

場所:東急 REI ホテル、ホテルタイセイアネックス、天文館ビジョンホール

主催:全国路面電車サミット 2015 鹿児島大会実行委員会

<http://www.racda-okayama.org/>

●くらしの足をみんなで考える全国フォーラム 2015

日時:2015 年 10 月 24 日(土)、25 日(日)

場所:東洋大学白山キャンパス 1 号館ほか

主催:くらしの足をみんなで考える全国フォーラム実行委員会

<http://zenkokuforum.jimdo.com/>

●都市交通研究所創立 50 周年記念シンポジウム

日時:2015 年 11 月 13 日(金)14:00～

場所:中央電気倶楽部 5 階 大ホール

主催:関西鉄道協会都市交通研究所

http://www.tokouken.jp/sympo_50th.html

●第 13 回 ITS シンポジウム 2015

日時:2015 年 12 月 3 日(木)、4 日(金)

場所:首都大学東京

主催:特定非営利活動法人 ITS Japan、首都大学東京

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/its_symposium13/

●エコプロダクツ 2015(第 17 回)

日時:(1 日目)2015 年 12 月 10 日(木)10:00~18:00

(2 日目)2015 年 12 月 11 日(金)10:00~18:00

(3 日目)2015 年 12 月 12 日(土)10:00~17:00

場所:東京ビッグサイト 東ホール

主催:一般社団法人産業環境管理協会、日本経済新聞社

<http://eco-pro.com/2015/>

5. その他

●EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！

2013 年 7 月 16 日から募集を開始し、38 団体が参加しています。

会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。

http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html

●EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！

<https://twitter.com/officeEST>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>

●交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)学校支援の支援校を募集しています！

http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html

●「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<http://www.green-m.jp/>

●エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>

●交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html

●記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail:magazine@ecomor.jp(担当:熊井)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト:<http://www.estfukyu.jp/>